

にいば地区 地域づくり通信 vol.47

令和8年1月9日発行

発行者：新穂地域づくり協議会（事務局：新穂行政サービスセンター 電話：0259-22-3111）

環境整備部会

○ 11月16日(日)、12月7日(日)「Save Our Sakura！新穂ダムの桜を救おう！」を実施しました。

新穂ダムの桜保全活動は令和元年から始まり今年で7年目です。11月16日には、今年2回目の植樹前整備と、これまで植えた苗木のお手入れを行いました。桜は植えるだけでなく、雑草の刈り取りや、苗木に絡むクズやフジ・ツタの除去、枯れた老木の撤去、日当たりを確保するための雑木除去と、作業内容は多岐にわたります。この日も地元業者の協力で重機を手配し、安全に作業を進みました。てんぐ巣病にかかり枯れた老木を切るのは悲しいところですが、新しい桜に引き継ぐため、みなさん気持ちを込めて作業に取り組みました。作業は半日で、14人が参加し、怪我もなく無事に終えました。

続いて12月7日（日）には新たに8本の苗を植え、残念ながら枯れた苗の一部も植え替えました。これまでに新植した桜は約120本に達しました。桜の名所復活にはまだ時間がかかりますが、会員みんなで楽しく続けていく意気込みを語り合っています。環境整備部会では「新穂ダムの桜を救おう！」にご協力いただける方を募集しています。

協力事業者：新穂森林組合、新穂村土地改良区、松田設備工業株、(有)齋藤工業、渡辺建設工業株、(株)高橋産業



○ 12月5日(金)「環境学習会」を開催しました。

地域の環境を学ぶ環境学習会を12月5日に新穂行政サービスセンターで開催しました。今年は環境省佐渡自然保護官事務所の首席自然保護官、北橋隆史氏にご講演いただきました。

北橋氏は大阪府出身で、4月に佐渡に着任されるまで、北海道大学で魚の研究を行い、その後、佐渡市の新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所での研究や、釧路でのシマフクロウの保護活動に従事してきました。講演では、朱鷺の保護活動についてお話しされ、これまでの地元の朱鷺保護活動に感心されたことや、生物多様性の取組み

と、持続性の高い環境の整備に取り組んでいることについても触れていただきました。



伝統文化部会

○11月10日(月)「瓜生屋地区探訪会」を開催しました。

11月10日（月）に開催した「瓜生屋地区探訪会」には、悪天候の中19名の方からご参加いただきました。新穂ダムの成り立ちや、大日堂、瓜生屋城跡などを名古屋瑞穂さんから解説していただき、中でも市の指定文化財にも登録されている「大日如来坐像」を今回特別に見学させていただきました。参加された方からは「初めて知るところが沢山あり楽しかった。」「また参加したい。」との声をいただきました。



○12月20日(土)「しめ縄づくり講習会」を開催しました。

今年で6回目となった「しめ縄づくり講習会」は23名の方からご参加いただきました。講師には昨年に引き続き、さどやニッポン（株）様をお招きし、思い思いのしめ縄を製作しました。参加いただいた方からは、「はじめは上手にできるか不安だったが、満足のいく出来だった。」「むずかしかったけど楽しかった」との感想をいただき、また参加したいとのご意見も多数いただきました。



○人材リストに登録いただける方を随時募集しています！！

伝統文化部会では、人材リストに登録いただける方を随時募集しています。各分野で活躍している方を対象に、登録、活用する人材リストを作成し情報を提供することにより、市民の学習活動等を支援する目的があります。作成した人材リストは、小中学校の総合学習等でご紹介させていただいているます。

生活安心部会

○ 10月14日(火) 「新穂中学校防災訓練」を開催しました。

今年も新穂中学校にて防災学習会を実施しました。新穂中学校をはじめ地域づくり協議会や民生委員・児童委員の方々のご協力をいただきました。

学習会では、生徒や地域住民が避難者と避難所の受け入れ側に分かれ、災害時の避難所運営を体験しました。また、今年は新穂中学校新たに整備されたマンホールトイレについて、佐渡市上下水道課からの説明も行われ、実際の使用方法を学ぶ良い機会となりました。



○ 10月26日(日) 「新穂地区合同防災訓練」を開催しました。

10月26日、新穂地区では全集落を対象とした合同防災訓練が実施されました。各集落において高齢者等の安否確認訓練が行われた後、トキのむら元気館を会場として防災ワークショップを実施しました。ここでは、日本防災士会新潟県支部から講師をお招きし、アワタラシートの作成により災害時の行動について学びました。

さらに、今年も赤十字奉仕団新穂班のご協力により、カレーとハイゼックス袋を使用した炊き出しが行われました。また、中学校に整備されたマンホールトイレの紹介も行われ、多くの

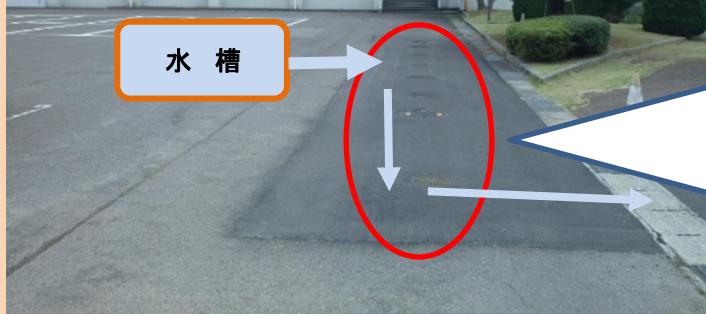
参加者に防災への理解を深めていただきました。



○新穂中学校で整備されたマンホールトイレの紹介



水槽



マンホールトイレは、災害で電気や水道が使用できない場合にも利用できる災害用トイレです。避難所などに佐渡市が整備しています。マンホールに接続されており衛生的に設計されており、通常のトイレが使用できない際も利用可能です。今年新穂中学校の校庭に整備されました。

※○印の地下に管がふせられており、水槽から左図の矢印の流れでマンホールに汚物を流します。

生活安心部会では男女の出会い活動を支援しています。

男女の出会いをサポートする婚活マッチングシステム

「“ハートマッチ”にいがた」の登録料を佐渡市が補助します！

佐渡市では、新潟県が運営する婚活マッチングシステム

「“ハートマッチ”にいがた」の会員登録料を補助しています。

○補助対象者 佐渡市に住所を有していること。

○補助金額 29歳以下 9,000円、30歳以上 11,000円

※詳細は佐渡市のHP等でご確認ください。

佐渡市 HP



ハートマッチ
にいがた



お問合せ：佐渡市地域産業振興課 地域支援係 TEL 63-7863 Mail: chiiki@city.sado.niigata.jp

地域活性化部会

○11月9日(日)「新穂しなしなマルシェ」を開催しました。

新穂地区の地域資源を活用した街の活性化と新たな賑わいを作ることを目的に、「新穂しなしなマルシェ」を開催しました。

さどやニッポンを芸能会場として、鼓童の出演やりぜむ鬼太鼓、のろま人形や舞踊等の芸能を披露した他、おんでのこ村やキッチンカーの出店、スタンプラリー＆ガラポン抽選会なども行い、会場は大変賑わっていました。

また、今回は観光周遊バスも用意し、あらためて新穂地区の観光ポイントを巡ったり、ビオトープツアーも実施して、新穂の街中のみならず、新穂エリア全体を知る良い機会となりました。



鼓童による芸能披露



ビオトープツアー



ガラポン抽選会

新穂地域づくり協議会では、部会員を随時募集しています。専門的な知識や技術は一切必要ありません。新穂と一緒に盛り上げませんか？

詳しくは、事務局までお気軽にご連絡ください。

事務局：新穂行政サービスセンター TEL 22-3111 メール sn-shimin@city.sado.niigata.jp



新穂地域づくり協議会

検索

<https://www.niibo-sado.com/>